

体育科



学校教育目標

考える子
やさしい子
たくましい子



体育科で学習すること

小学校の体育科の学習では、心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育成します。

3つの達成目標

体力のねらい

明るく豊かで活力のある生活を営むために、子どもたち一人一人が[体力向上目標値]を設定し、体力向上を図ることをねらいとします。

学習内容（学年ごと）

1年生

かけっこ マット 跳び箱
平均台 水遊び 鉄棒 鬼遊び
ボール投げ ボール蹴り
ゴム跳び 竹馬 等

2年生

かけっこ マット 鬼遊び
平均台 水遊び 鉄棒 竹馬
ボール投げ ボール蹴り
跳び箱 ゴム遊び 等

3年生

跳び箱 鉄棒
ベースボール型ゲーム
ゴール型ゲーム 一輪車
ハードル走
浮く・泳ぐ運動 幅跳び
長縄・短縄 保健 等

4年生

跳び箱 鉄棒
ベースボール型ゲーム
ネット型ゲーム 高跳び
ゴール型ゲーム マット
長縄・短縄 ハードル走
水泳 保健 等

5年生

走り幅跳び 鉄棒 リレー
水泳 表現運動 ハードル走
サッカー 保健
跳び箱運動 保健 マット運動
バスケットボール 等

6年生

走り高跳び
鉄棒 走り幅跳び 水泳
ハードル走 表現運動 保健
リレー マット運動 跳び箱運動
バスケットボール
サッカー
ソフトバレーボール 等

学習内容



評価について

～次の3つの観点で評価します～

次の3つの観点で評価をします。

◇知識・技能

各種の運動の行い方について理解しているとともに、基本的な動きや技能を身に付けている。また、身近な生活における健康・安全について実践的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。

◇思考・判断・表現

自己の運動の課題を見つけ、その解決のための活動を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、身近な生活における健康に関する問題を見つけ、その解決を目指して思考判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

◇主体的に学習に取り組む態度

運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動に進んで取り組もうとしている。また、健康を大切に、自己の健康の保持増進についての学習に進んで取り組もうとしている。

具体的取組を紹介します

●わかる授業の展開

児童のめあてや活動に合った施設や場を工夫し、基礎・基本を身につけさせます。

●外部の方の支援

必要に応じて、水泳、器械運動などの分野で専門的に活動している方が来校し、教師とともに指導します。



●特色ある取組

チャレンジ…水・金曜日の業間休みは、全校で体操、マラソン、縄跳び等に取り組み、体力の向上を図ります。

●一人一人を認め、生かし、伸ばす評価
色々な種目や検定で、自分にあつためあてを持ち、努力する姿を応援します。

・鉄棒(逆上がり) ・水泳 ・縄跳び 等

保護者の方へ

- 体力の向上は、健康が第一です。近年、埼玉県では朝食欠食児童が増えて来ています。規則正しい生活を送ると共に、バランスのとれた食生活で、健康な子ども達を育てましょう
- 本校では普段着で登下校するため、体育着は常に清潔なものを着用できるようにしてください。
- 体育着は、児童の体型にあつたもの、気候に適したものを着用させて下さい。

体育の授業はこれだけあります

学年	年間授業時数	週あたりの時数
1	102時間	2～3時間
2	105時間	3時間
3	105時間	3時間
4	105時間	3時間
5	90時間	2～3時間
6	90時間	2～3時間

1年間の体育的行事

- 水・金のチャレンジ
 - 1学期の体力テスト
 - 2学期の運動会、持久走大会
 - 3学期の縄跳び大会
- 業間休みや昼休みには、校庭でボールを追いかける子、遊具で遊ぶ子、また鬼ごっこで走り回る子などであふれる元気な学校にします。

